

U/C 移行ツール 利用マニュアル

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本資料を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本資料は、予告なしに変更する場合があります。
- 本資料の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

PostgreSQLは、PostgreSQLの商標または登録商標です。
その他、各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2013/9/19	新規作成
2	2014/10/30	U/C 10.1.0のリリースに対応し一部変更
3	2016/2/26	3.2. 移行対象外の祝日項目に説明を追加
4	2017/10/1	一部文言を修正

1.	本書の概要	5
2.	U/C移行ツールの概要	6
2.1.	現行U/Cからデータを取得する流れ	6
2.2.	新U/Cへデータを登録する流れ	7
3.	移行対象と対象外	8
3.1.	移行対象	8
3.2.	移行対象外	8
4.	前提条件	9
4.1.	移行データ抽出ツール	9
4.2.	移行データ登録ツール	9
5.	操作説明	10
5.1.	移行データ抽出ツール	10
5.1.1.	ツールの準備	10
5.1.2.	起動方法	10
5.1.3.	操作方法	11
5.2.	移行データ登録ツール	14
5.2.1.	ツールの準備	14
5.2.2.	起動方法	14
5.2.3.	操作内容	15
6.	補足事項	17
6.1.	ツール実行後の確認事項	17
6.2.	スケジュールの起動	20
6.2.1.	システムスケジュール	20
6.2.2.	ユーザスケジュール	21
6.3.	ユーザフォルダについて	23

1.本書の概要

当マニュアルではU/C移行ツールの説明、及び使用手順を記述します。

新U/Cへ使用する際に、現行U/Cのデータを引き継ぐためには、U/C移行ツールでデータを移行する必要があります。

2.U/C移行ツールの概要

U/C移行ツールは、現行U/Cのユーザや、スケジュール等の登録情報を新U/Cに引き継がせるためのツールです。

U/C移行ツールを使用することにより、現行U/Cで使用されていた一部の情報を新U/Cに移動させて、再度登録する手間を省きます。ツールは「移行データ抽出ツール」と「移行データ登録ツール」の2種類があります。「移行データ抽出ツール」が現行U/Cからデータを抽出し、そのデータを「移行データ登録ツール」が新U/Cに登録を行います。

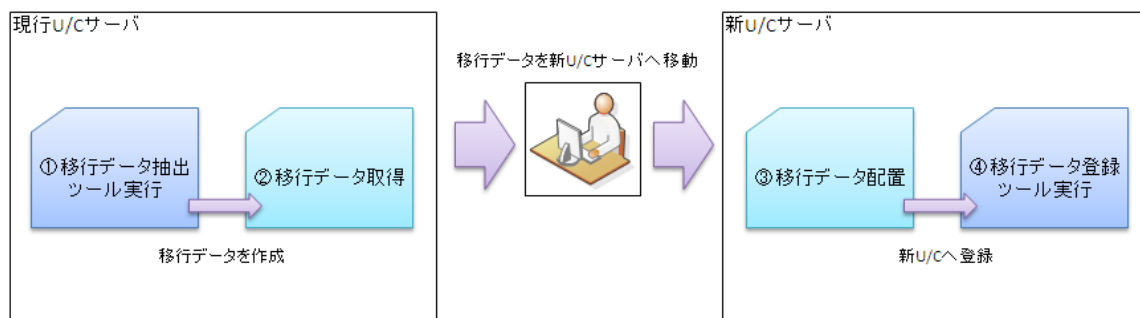


図 2-1 移行作業 全体イメージ図

2.1.現行U/Cからデータを取得する流れ

「移行データ抽出ツール」は現行U/Cから登録情報を取得します。

取得した現行U/Cのデータは、ツール起動時に指定されたフォルダへ保存します。

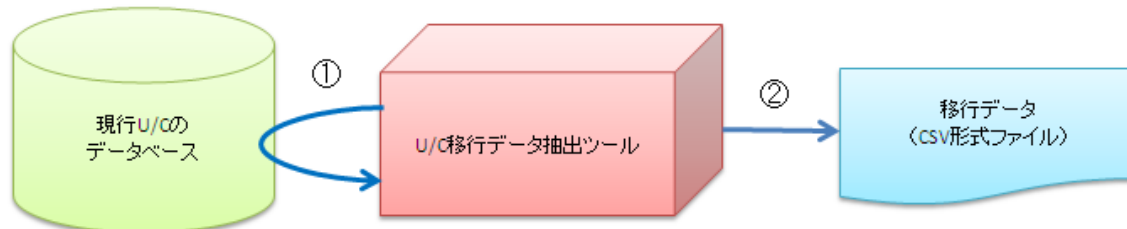


図 2-2 移行データ抽出ツール 流れ図

- ① 現行U/Cのデータベースから、移行データ抽出ツールが登録情報を取得します。
- ② 移行データ抽出ツールが、①で取得した登録情報をCSV形式のファイルに変換し、移行データとして保存します。

2.2.新U/Cへデータを登録する流れ

「移行データ登録ツール」は現行U/Cから取得した登録情報を、新U/Cに登録します。起動には「移行データ抽出ツール」で作成した移行データ(CSV形式ファイル)が必要です。ツール起動時に指定された配置先から、移行データを読み込みます。

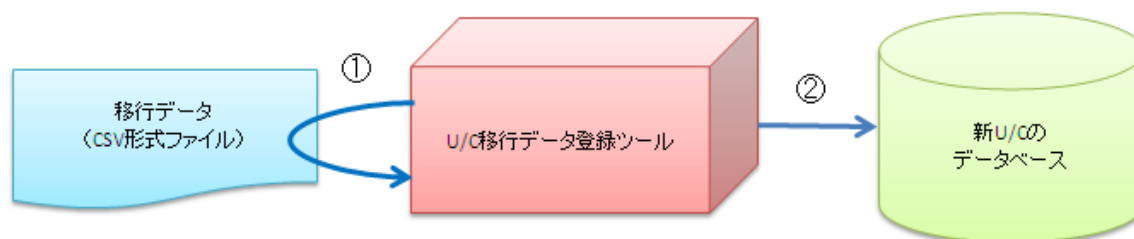


図 2-3 移行データ登録ツール 流れ図

- ① 現行U/Cから取得した移行データ(CSV形式ファイル)を移行データ登録ツールが読み込みます。
- ② 移行データ登録ツールが、①で読み込んだ移行データを新U/Cのデータベースへ登録します。

3.移行対象と対象外

現行U/Cに登録されているデータの中で、ユーザ情報やパートナー情報などの、利用者が登録を行う情報が移行対象となります。

ここに記述されていない情報は、インストーラで登録が行われます。

3.1.移行対象

- ユーザ
- 通信設定
- パートナー
- システムスケジュール(バックアップ)
- ユーザ個別スケジュール(送信/受信/その他)
- ファイル転送設定
- 情報区分
- 祝日
- 休日曜日

3.2.移行対象外

- ユーザ
送信先メールアドレス、送信先メールの種類(正常/異常)
- メールサーバ
送信メールサーバ、電子メールアドレス
- ユーザ個別スケジュール
当日初期処理、データベース最適化、リポートのスケジュール
- 祝日
国民の祝日として定められている祝日
・元旦、成人の日、建国記念日、春分の日、昭和の日、憲法記念日、みどりの日、こどもの日、海の日、山の日、敬老の日、秋分の日、体育の日、文化の日、勤労感謝の日、天皇誕生日
※上記の祝日は、新U/Cサーバの初期マスタとして登録されるため、移行対象外となります。

現行UCにおいて以下の名称で登録されている祝日
・振替休日、国民の休日
※上記の祝日は、新U/Cサーバにて毎年自動的に計算し登録されるため、移行対象外となります。
- 休日
祝日と休日曜日以外で、休日と設定した日付
(現行U/Cタスクマネージャの休日設定画面のカレンダー設定より、休日設定した日付を意味しております。)
- 業務区分・情報区分
現行U/Cの情報区分登録画面から新規に登録された業務区分と情報区分

4.前提条件

U/C移行ツールを使用する前に、あらかじめ用意して頂く事項を記述します。

以下の内容は、各ツールを実行時に必要な情報となりますので、実行前に準備して頂くようお願いします。

4.1.移行データ抽出ツール

- 移行データの配置先
移行データ抽出ツールが作成するCSV形式ファイルの出力先フォルダを作成して下さい。

4.2.移行データ登録ツール

- 新U/Cで使用するデータベースの接続先情報
新U/Cのインストーラ内でインストールして頂いた、PostgreSQLの接続先情報を用意して下さい。
ツール実行時にホスト名、ポート番号、データベース名、ユーザ名、パスワードが必要になります。
- 移行データの配置先
移行データ抽出ツールで作成した移行データを、新U/Cサーバ上の任意の場所に配置して下さい。
- 新U/Cのインストール先フォルダ
新U/Cのインストール先フォルダにアクセス可能なユーザでログオンして下さい。
データの登録と同時に、新U/Cのインストール先フォルダに、ユーザフォルダを作成します。

5.操作説明

5.1.移行データ抽出ツール

現行U/Cのデータベースから移行データの抽出を行う「移行データ抽出ツール」の操作手順を記述します。

5.1.1.ツールの準備

「移行データ抽出ツール.zip」を解凍して下さい。

ツールの配置先に指定はありませんので、任意の場所に解凍して下さい。

解凍したフォルダ内に移行データ抽出ツールが含まれています。

5.1.2.起動方法

「5.1.1」で解凍したフォルダ内の「移行データ抽出ツール.bat」から起動します。

バッチファイルを実行して下さい。

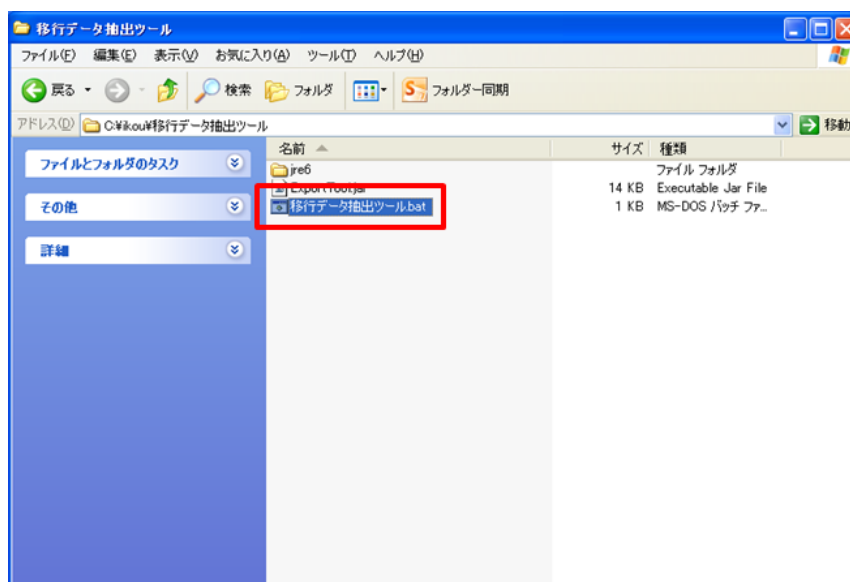


図 5-1 移行データ抽出ツール 起動

5.1.3.操作方法

移行データ抽出ツールを起動すると、「図 5-2 移行データ抽出ツール 初期表示」のような画面が立ち上がります。現行U/Cから取得した移行データをどのフォルダに保存するか、入力を待っている状態です。

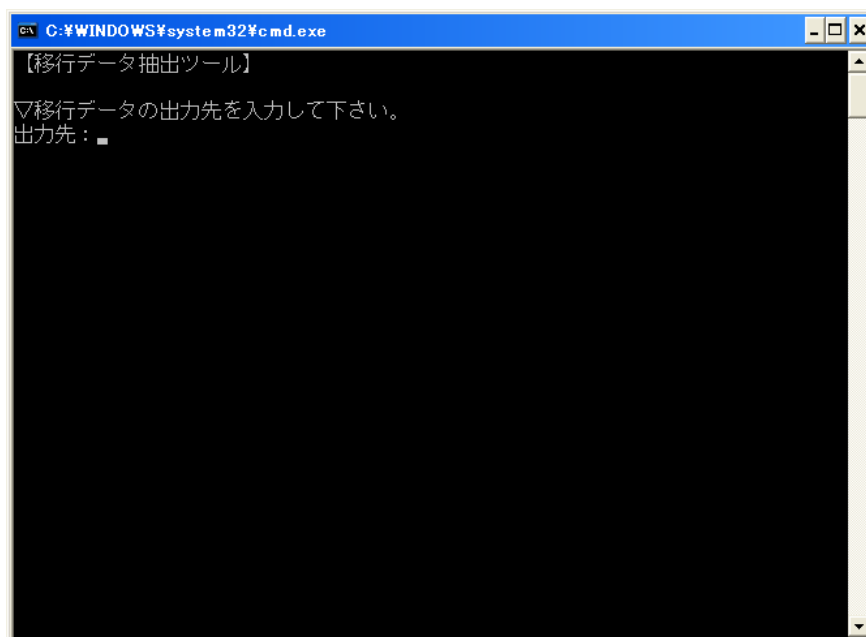


図 5-2 移行データ抽出ツール 初期表示

[出力先] に移行データを保存するフォルダの場所を入力して下さい。

入力が終わりましたら、エンターキーを押下して下さい。

抽出処理を起動します。

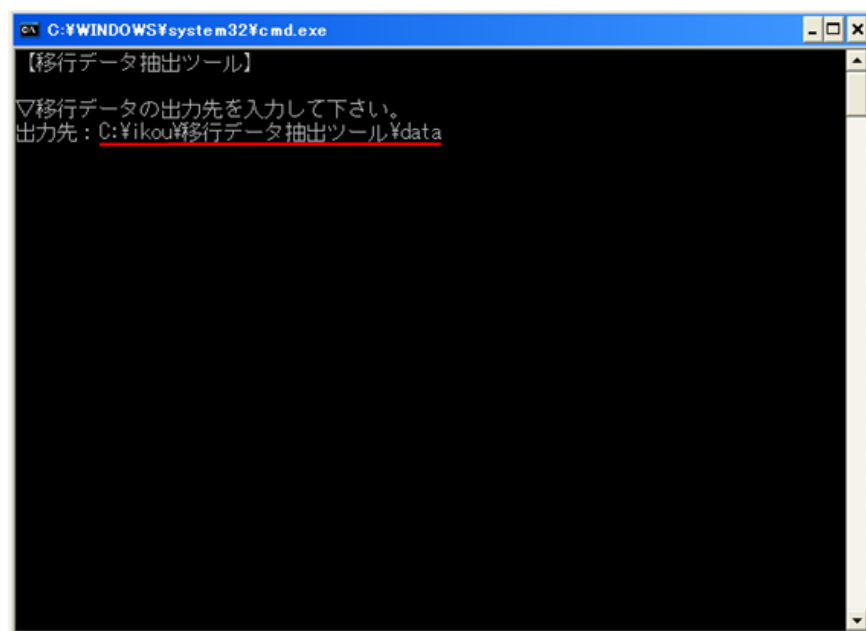


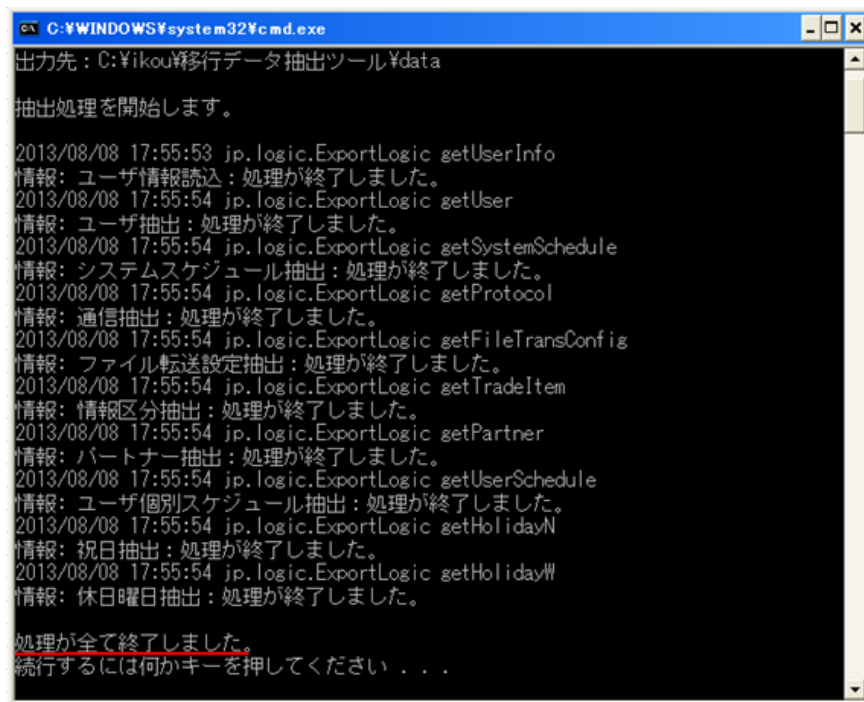
図 5-3 移行データ抽出ツール 入力例

※ 「図 5-3 移行データ抽出ツール 入力例」の [出力先] への入力値は使用例となります。使用される際には、実際に移行データを保存したいフォルダの場所を入力して下さい。

※ 起動を中止したい場合は、[出力先] の入力を行わずに画面を閉じて下さい。

抽出ツールが起動すると、「図 5-4 移行データ抽出ツール 処理終了」のような抽出処理のログメッセージが表示されます。

終了メッセージ(赤線部分)が表示されるまで、しばらくお待ち下さい。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
出力先: C:\yikou\移行データ抽出ツール\data
抽出処理を開始します。

2013/08/08 17:55:53 jp.logic.ExportLogic getUserInfo
情報: ユーザ情報読込: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getUser
情報: ユーザ抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getSystemSchedule
情報: システムスケジュール抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getProtocol
情報: 通信抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getFileTransConfig
情報: ファイル転送設定抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getTradeItem
情報: 情報区分抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getPartner
情報: パートナー抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getUserSchedule
情報: ユーザ個別スケジュール抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getHolidayN
情報: 祝日抽出: 処理が終了しました。
2013/08/08 17:55:54 jp.logic.ExportLogic getHolidayW
情報: 休日曜日抽出: 処理が終了しました。

処理が全て終了しました。
続行するには何かキーを押してください...
```

図 5-4 移行データ抽出ツール 処理終了

処理終了のメッセージを確認しましたら、任意のキーを押下して下さい。ツールの画面が閉じます。

その後、ご指定のフォルダに移行データが配置されています。「図 5-5 移行データ抽出ツール 移行データ確認」のように9個のCSV形式ファイルが、すべて揃っていることを確認して下さい。

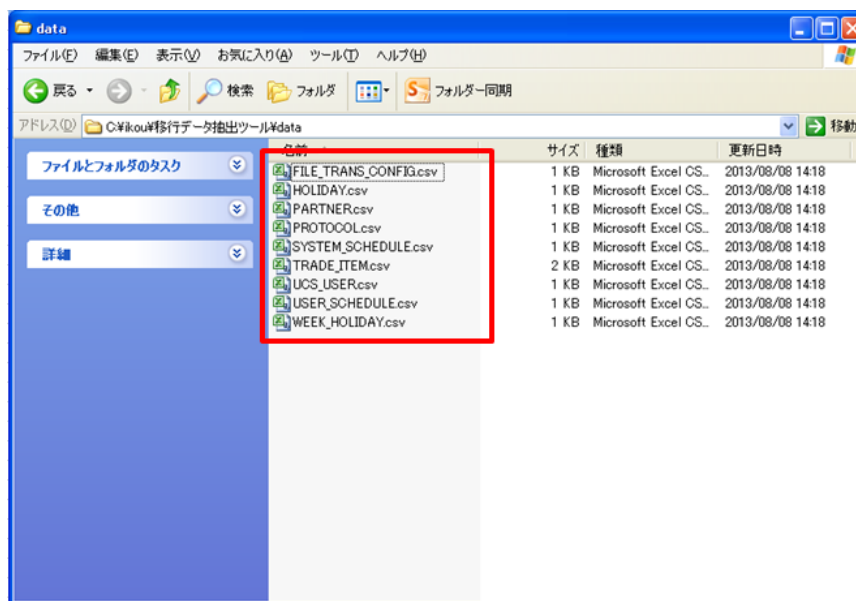


図 5-5 移行データ抽出ツール 移行データ確認

表 5-1 移行データ抽出ツール 移行データ一覧

ファイル名	詳細
FILE_TRANS_CONFIG.csv	ファイル転送設定の移行データ
HOLIDAY.csv	祝日の移行データ
PARTNER.csv	パートナーの移行データ
PROTOCOL.csv	通信の移行データ
SYSTEM_SCHEDULE.csv	システムスケジュールの移行データ
TRADE_ITEM.csv	情報区分の移行データ
UCS_USER.csv	ユーザの移行データ
USER_SCHEDULE.csv	ユーザスケジュールの移行データ
WEEK_HOLIDAY.csv	休日曜日の移行データ

このファイルは「移行データ登録ツール」で使用するため、内容を編集せずに保管して頂くようお願いします。

5.2. 移行データ登録ツール

移行データを新U/Cのデータベースに登録を行う「移行データ登録ツール」の操作手順を記述します。

5.2.1. ツールの準備

「移行データ登録ツール.zip」を解凍して下さい。

ツールの配置先に指定はありませんので、任意の場所に解凍して下さい。

解凍したフォルダ内に移行データ登録ツールが含まれています。

また、移行データ抽出ツールで作成した移行データ(CSV形式ファイル)を用意して下さい。

配置先は移行データ登録ツールと同じ端末であれば、どのフォルダに配置しても問題ありません。

5.2.2. 起動方法

「5.2.1ツールの準備」で解凍したフォルダ内の「移行データ登録ツール.bat」から起動します。

バッチファイルを実行して下さい。

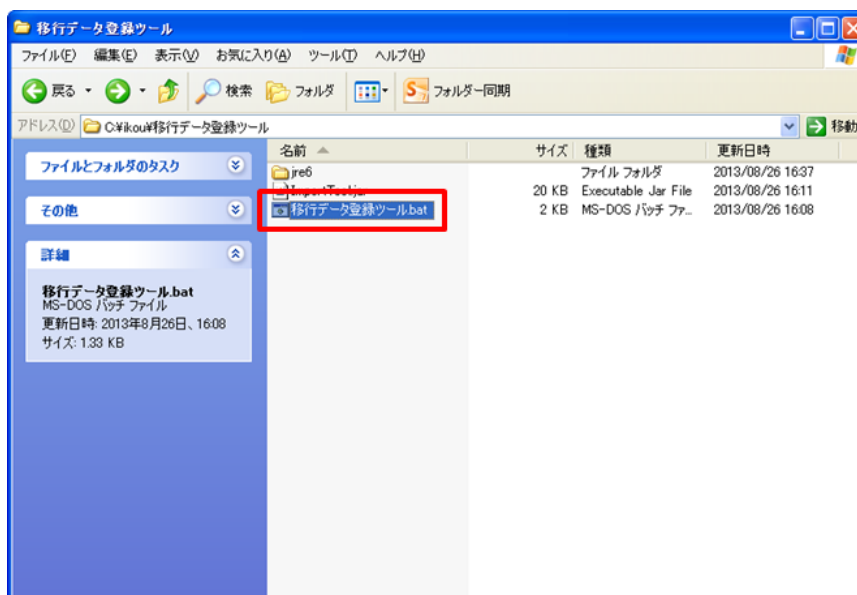


図 5-6 移行データ登録ツール 起動

5.2.3.操作内容

移行データ登録ツールを起動すると、「図 5-7 移行データ登録ツール 初期表示」のような画面が立ち上がります。新U/Cのデータベース情報の入力を待っている状態です。

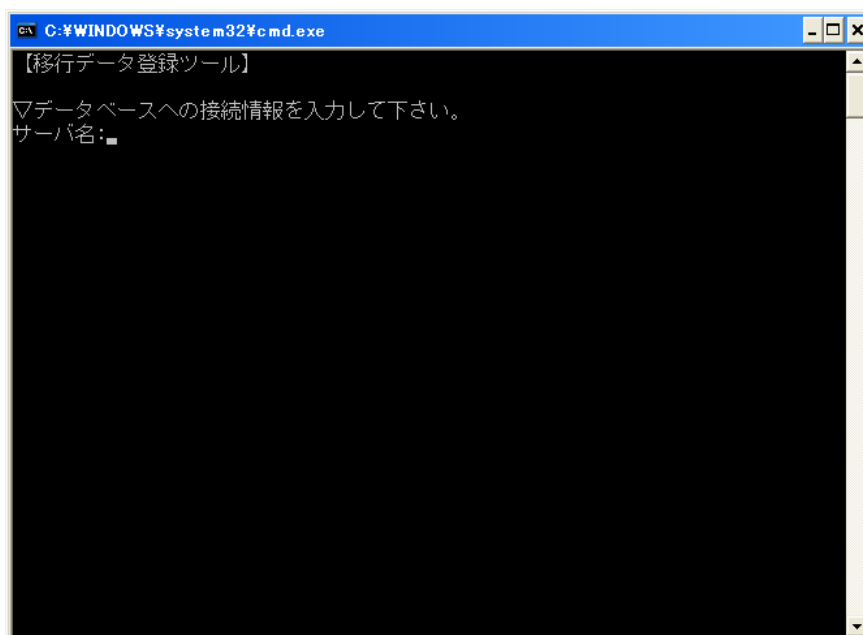


図 5-7 移行データ登録ツール 初期表示

各項目に該当する内容を入力して下さい。

移行データ登録ツールでは、「表 5-2 移行データ登録ツール 入力項目一覧」の項目の入力が必要になります。

表 5-2 移行データ登録ツール 入力項目一覧

項目名	入力内容
サーバ名	新U/Cで使用するデータベースのサーバ名
ポート番号	新U/Cで使用するデータベースのポート番号
データベース名	新U/Cで使用するデータベースの名称("ucsd"固定)
ユーザ名	新U/Cのインストール時に登録したPostgreSQLのユーザ名("postgres"固定)
パスワード	新U/Cのインストール時に登録したPostgreSQLのパスワード
配置先	移行データ抽出ツールで作成した移行データの配置先フォルダ
インストール先	新U/Cのインストール先フォルダ(…\Adedi)

※ ひとつの項目に値を入力し、エンターキーで確定すると、次の項目が表示されます。

インストール先まで指定が終わりましたら、登録処理が開始されます。

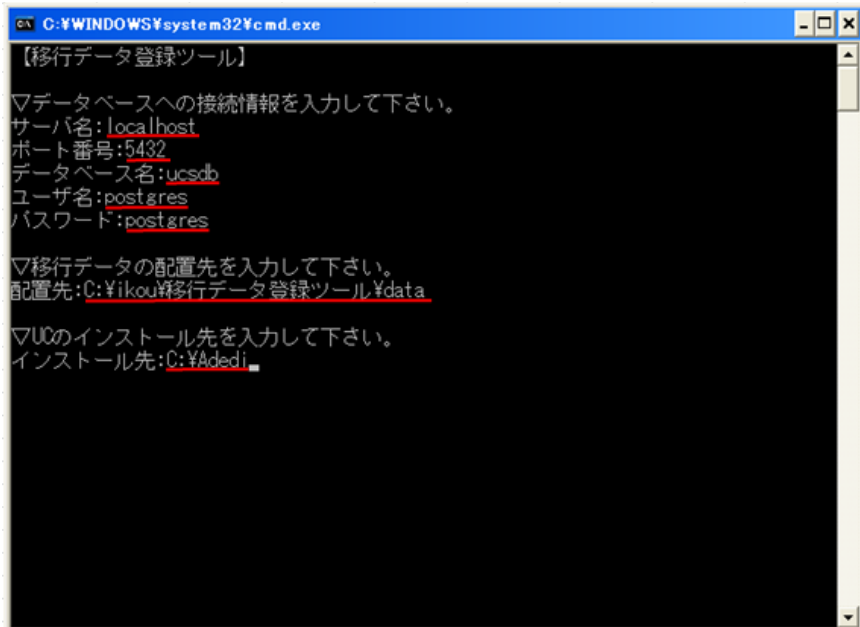


図 5-8 移行データ登録ツール 入力例

- ※ 「図 5-8 移行データ登録ツール 入力例」の入力値は全て使用例となります。使用される際には、実際に設定されているデータベース情報、移行データの配置先、新U/Cのインストール先を入力して下さい。
- ※ 起動を中止したい場合は、入力を行わずに画面を閉じて下さい。

登録ツールが起動すると、「図 5-9 移行データ登録ツール 処理終了」のような登録処理のログメッセージが表示されます。

終了メッセージ(赤線部分)が表示されるまでしばらくお待ち下さい。

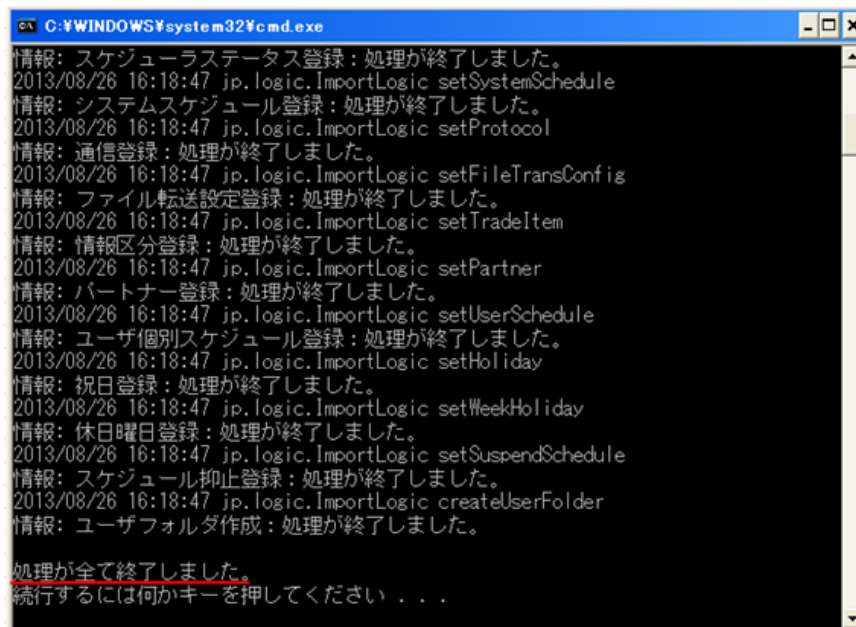


図 5-9 移行データ登録ツール 処理終了

処理終了のメッセージを確認したら、任意のキーを押下して下さい。ツールの画面が閉じます。

以上で移行完了になります。

6. 補足事項

6.1. ツール実行後の確認事項

移行データの中にファイルの場所を含むデータは、移行前後でファイルの配置先に変更がないか確認して下さい。各項目の詳しい設定方法は、別紙の「UCサーバオペレーションマニュアル.pdf」をご参照下さい。

以下のデータは変更が必要になる可能性があります。

- ユーザ個別スケジュール
 - ・送信スケジュールの取引データ伝送プログラムと業務通知プログラム
 - ・受信スケジュールの取引データ伝送プログラムと業務通知プログラム
 - ・指定プログラム実行の実行プログラム

※ TaskManagerのスケジュール設定画面で確認・設定が行えます。

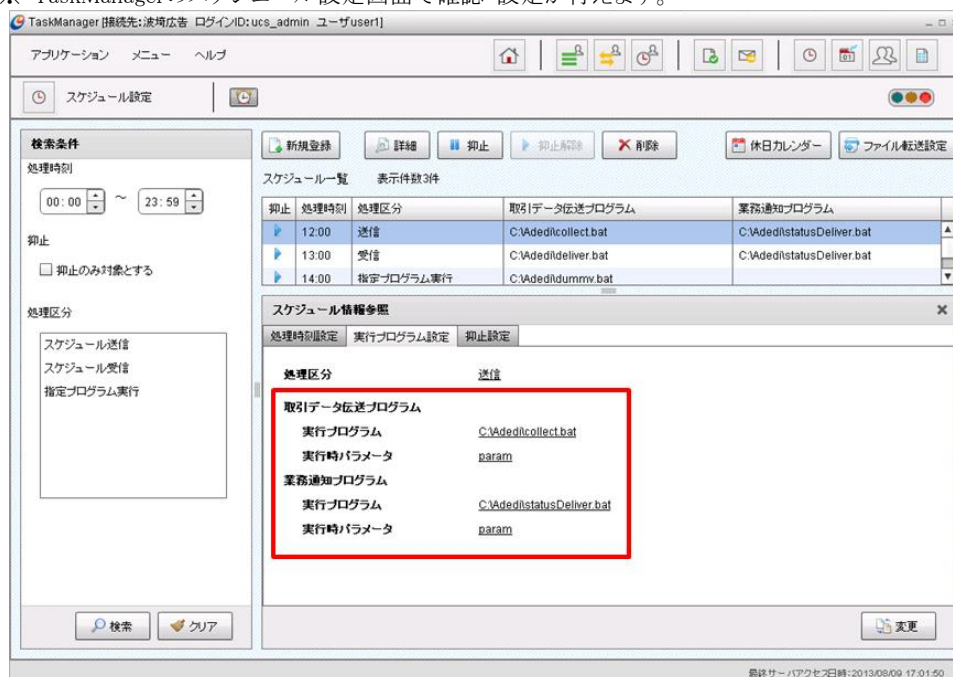


図 6-1 新 U/C 送信スケジュールの確認

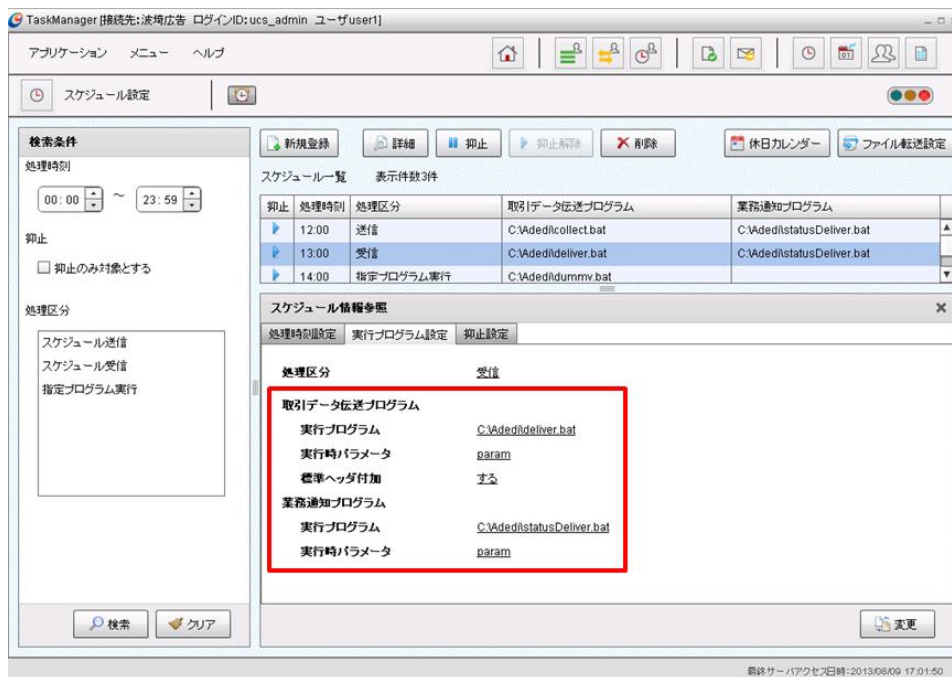


図 6-2 新 U/C 受信スケジュールの確認

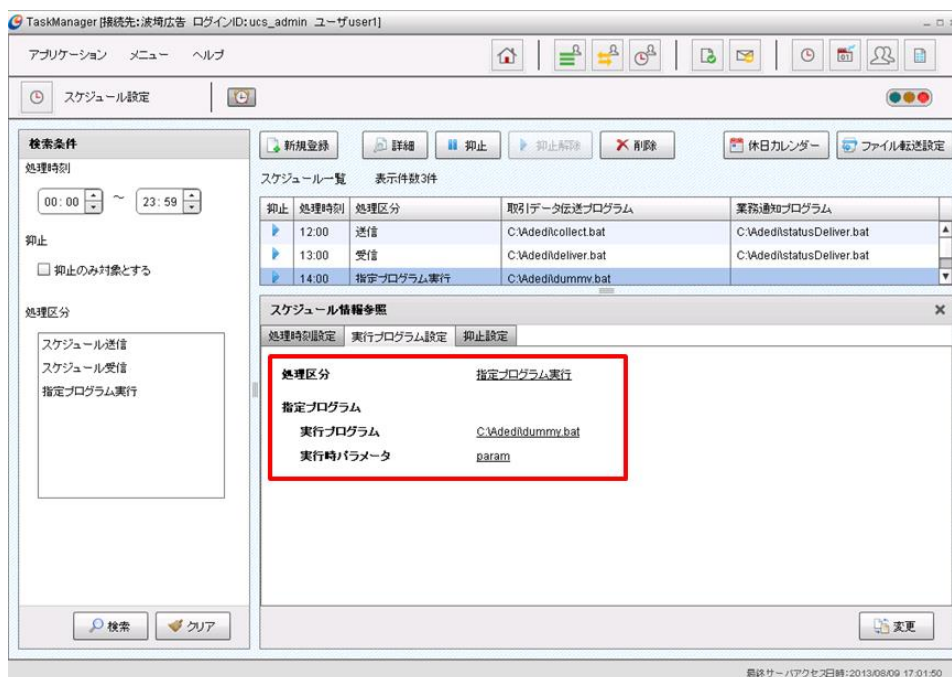


図 6-3 新 U/C 指定プログラムの確認

- ファイル転送設定
 - ・取引データ集信プログラムのリターンコードファイル
 - ・取引データ配信プログラムのリターンコードファイル
 - ・ステータス配信プログラムのリターンコードファイル

※ TaskManagerのスケジュール設定画面(ファイル転送設定)で確認・設定が行えます。

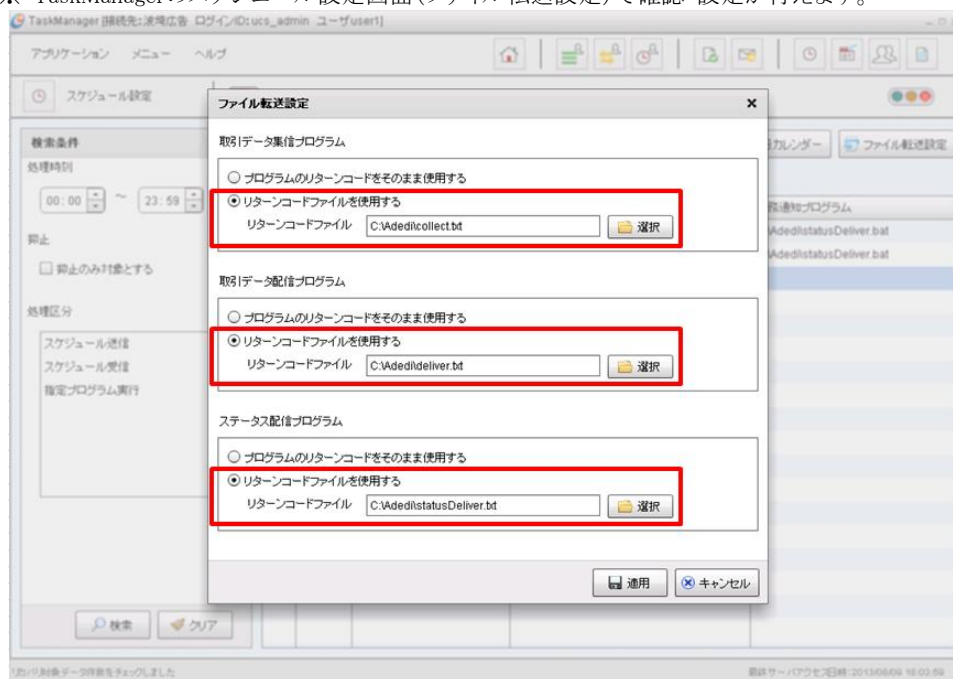


図 6-4 新 U/C 各種リターンコードファイルの確認

- システムスケジュール
 - ・バックアップスケジュールのバックアップ先フォルダ

※ SystemManagerのシステムスケジュール設定画面で確認・設定が行えます。

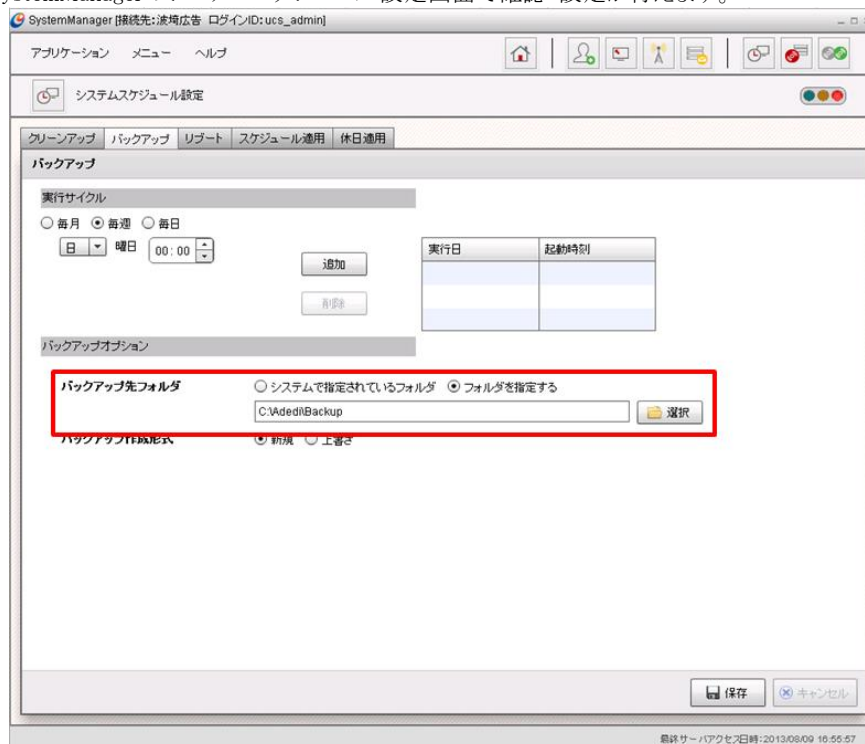


図 6-5 新 U/C バックアップ先フォルダの確認

6.2. スケジュールの起動

現行U/Cから移行したスケジュール情報は、システム保守を行うシステムスケジュールと、ユーザ別に送受信処理を行うユーザスケジュールに登録されます。

新U/Cのインストール時は、どちらのスケジュールも停止状態に設定されているので、移行したスケジュール情報を起動するためには、各スケジュールを起動状態に変更する必要があります。

6.2.1. システムスケジュール

移行対象からは、以下のスケジュールがシステムスケジュールに該当します。

- バックアップ


システムスケジュールはシステムマネージャから起動・停止できます。





図 6-6 システムマネージャ メインメニュー画面




6.2.1.1. システムスケジュールを起動するには

- 1) システムスケジュールの現在の状態(起動・停止)がシステムマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。

システムスケジュールが停止している場合は  となっています。

- 2)  アイコンをクリックするかまたは、ツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ起動」を選択すると、アイコンの状態が  となりシステムスケジュールが起動された状態になります。

6.2.1.2.システムスケジュールを停止するには

- 3) システムスケジュールの現在の状態(起動・停止)がシステムマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。
システムスケジュールが起動されている場合はとなっています。
- 4) アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ停止」を選択すると、アイコンの状態がとなりシステムスケジュールが停止された状態になります。

6.2.2.ユーザスケジュール

移行対象からは、以下のスケジュールがユーザスケジュールに該当します。

- スケジュール送信
- スケジュール受信
- 指定プログラム実行(現行U/Cでは「その他」)

ユーザスケジュールは各ユーザのタスクマネージャから起動・停止できます。

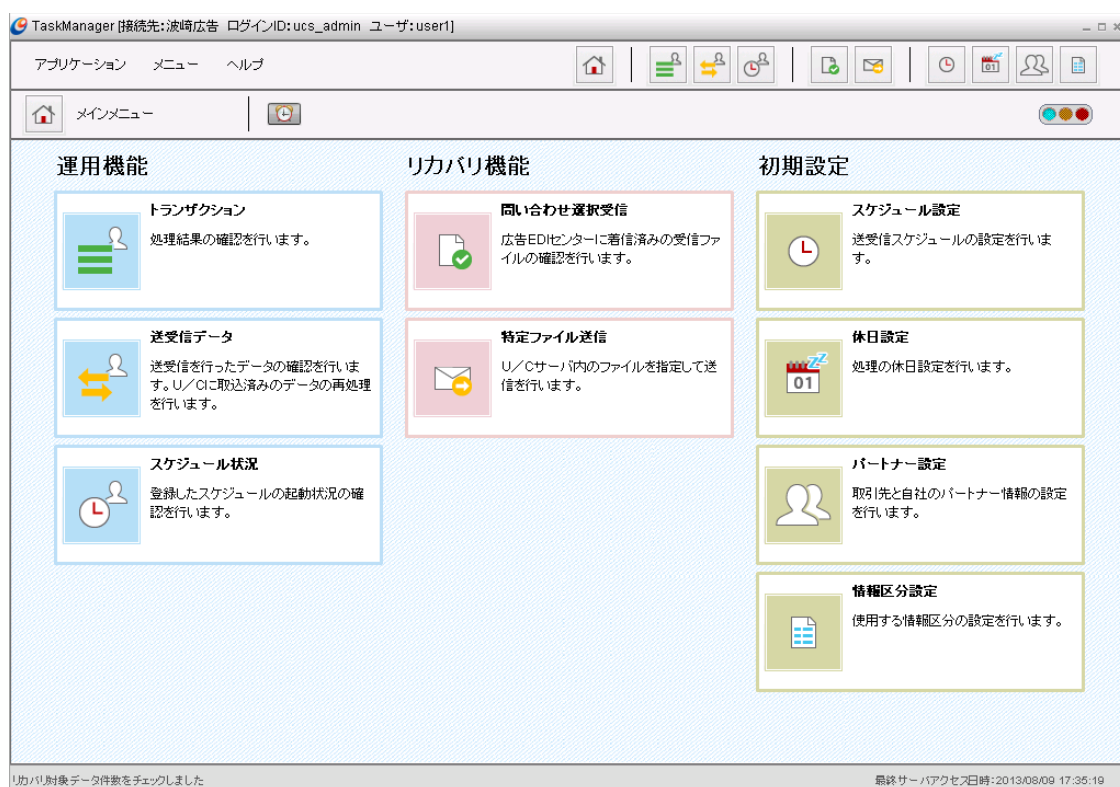








図 6-7 タスクマネージャ メインメニュー画面

6.2.2.1. ユーザスケジュールを起動するには

- 1) ユーザスケジュールの現在の状態(起動・停止)がタスクマネージャの画面右上のスケジュール信号アイコンで表示されています。
ユーザスケジュールが停止している場合は  となっています。
- 2)  アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ起動」を選択すると、アイコンの状態が  となりユーザスケジュールが開始された状態になります。

6.2.2.2. ユーザスケジュールを停止するには

- 3) ユーザスケジュールの現在の状態が画面右上のアイコンで表示されています。
ユーザスケジュールが起動されている場合は  となっています。
- 4)  アイコンをクリックするか、またはツールバーの「メニュー」から「スケジューラ」>「スケジューラ停止」を選択すると、アイコンの状態が  となりユーザスケジュールが停止された状態になります。

6.3. ユーザフォルダについて

移行データ登録ツールでは、現行U/Cのデータを新U/Cに移行する他に、移行した各ユーザのユーザフォルダを、新U/Cのインストール先フォルダ内に作成します。

ユーザフォルダの作成は、アクセス権限などが原因で失敗してしまう可能性があります。その場合、該当フォルダを手動にて作成して頂く必要があります。

「表 6-1 ユーザフォルダ一覧」が全ユーザフォルダの構成になります。実際に、表の通りにフォルダが作成されていることを確認して下さい。

表 6-1 ユーザフォルダ一覧

フォルダ名	フォルダの場所
集信フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Collect」
配信フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Deliver」
エラー集信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\ErrorData\Collect」
エラー受信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\ErrorData\JXRecv」
問い合わせファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Query」
受信フォルダ(業務データ)	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Receive\Data」
受信フォルダ(問い合わせ)	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Receive\Query」
受信フォルダ(メール)	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Receive\Stm」
分割後フラットファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\Collect」
配信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\Deliver」
リクエスト・レスポンスメッセージ保存フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\Http」
受信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\JXRecv」
マージファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\JXSend」
受信フラットファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\Receive」
送信ファイル保管フォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Save\Send」
送信フォルダ(業務データ)	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Send\Data」
送信フォルダ(問い合わせ)	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Send\Query」
ワークフォルダ	「%UCS_HOME%\[ユーザID]\Tmp」

※ %UCS_HOME% は新U/Cのインストール先フォルダです。

※ [ユーザID] は現行U/Cから移行したユーザのユーザIDです。ユーザフォルダを作成する必要があるユーザIDはシステムマネージャのユーザ設定画面(「図 6-8 ユーザ設定画面 ユーザID」の赤線部分)で確認できます。

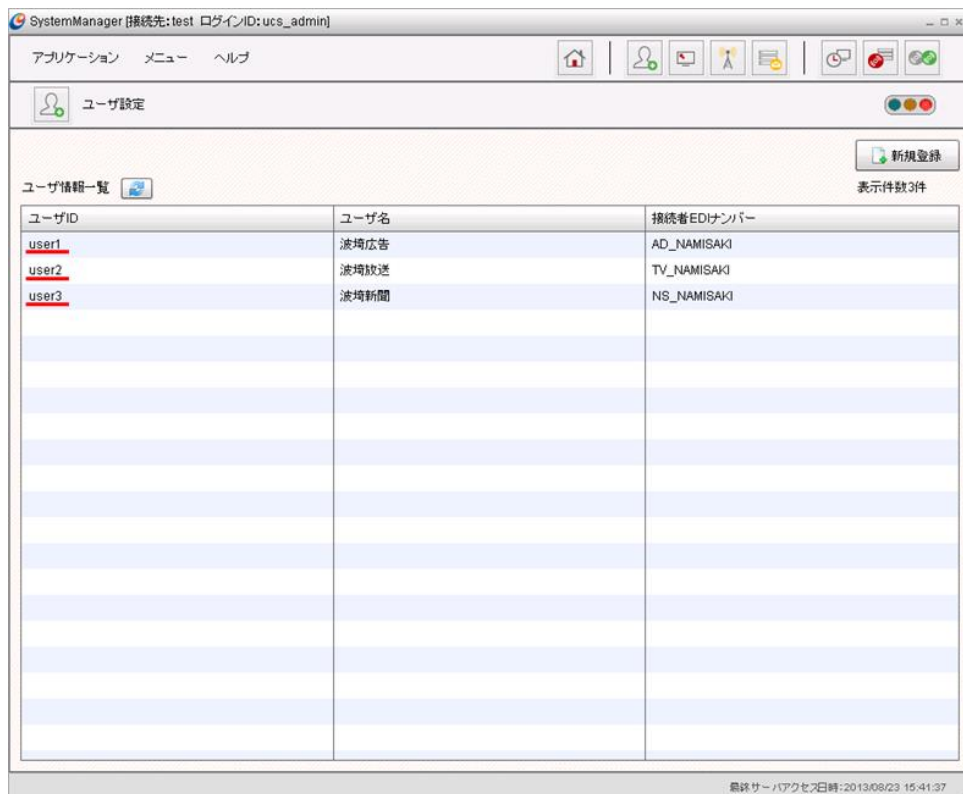


図 6-8 ユーザ設定画面 ユーザ ID

※ ユーザフォルダの作成に失敗した場合のログメッセージが「図 6-9 ユーザフォルダ 作成失敗例」です。
 この場合は、「C:\¥Adedi¥user1」の中に「Collect」フォルダと「Deliver」フォルダを作成して下さい。

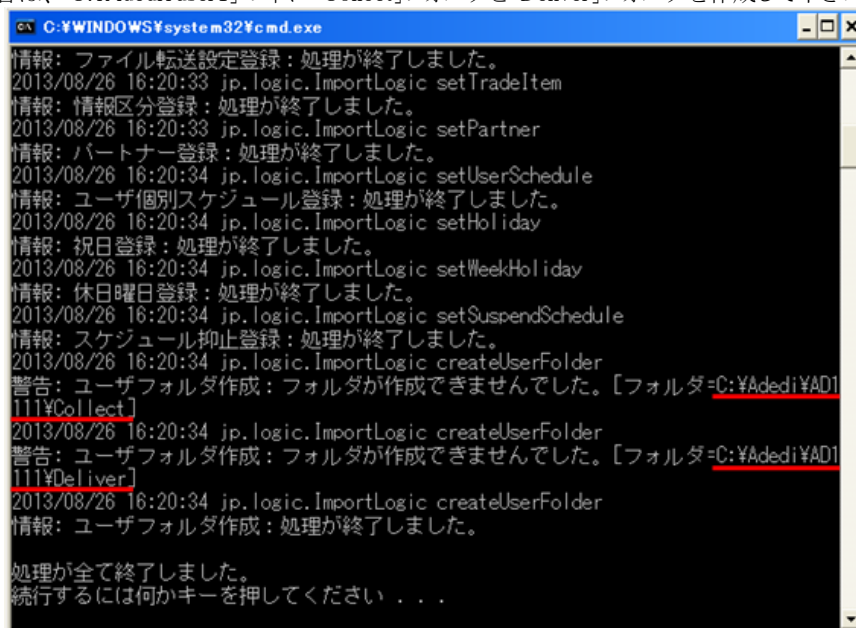


図 6-9 ユーザフォルダ 作成失敗例